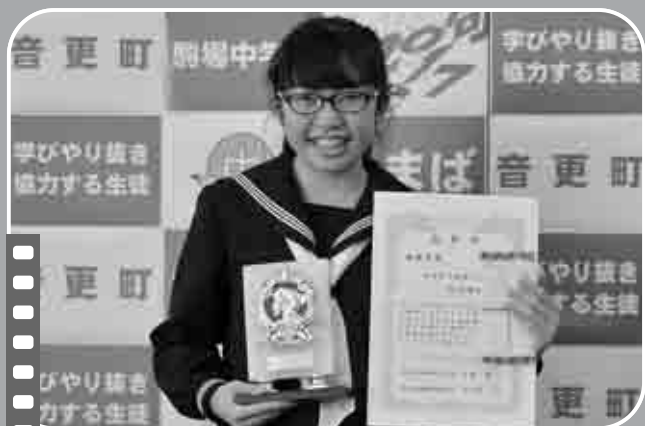


まちの話題



12/14 手打ちそばに挑戦

ふれあい交流館で音更蕎麦研究会の皆さんを講師に迎え、16人が参加し、年越し手打ちそば教室が開かれました。先生に教わりながらそば粉と小麦粉を混ぜ合わせ、そばの仕上がり具合を左右する水回し(加水)を素早く行います。こね棒を使用し、全身を使って生地を伸ばすため、「少し腰が痛くなりますが、そば粉を混ぜ合せているときの香りが最高です」と参加した村木和夫さん。仕上がり具合に満足した表情でした。



12/20 どんな人にも平等な優しさを

全国中学生人権作文コンテスト十勝地区大会で駒場中1年生の河田憩依さんが最優秀賞を受賞しました。「障がいを持つ人が偏見の目で見られるのが嫌なんです。将来は人の心に気付く大人になりたい」と作文への思いと抱負を語ってくれました。



1/9 飛躍する年の幕開け

町と議会主催の「新年交礼会」が開かれました。会場の総合福祉センターには、町内外の団体代表や行政区長など約200人が出席。小野町長、佐藤議会議長のほか、成年生まれの出席者9人が鏡開きで新年を祝いました。



華やかに大人への第一歩



1月7日、文化センターで成人式が行われました。懐かしい恩師からのビデオレター上映などに、会場は和やかな雰囲気になりました。新成人代表の伊藤満理奈さんからは「どんなときも前を向いて歩いて行きたい」と誓いの言葉が述べられました。



オリンピック選手を目指せ



小学生と幼児を対象とした第8回音更町ミニスプリント大会が町営スケートリンクで行われました。天候に恵まれ、リンクコンディションも良好。選手たちは家族からの熱い声援につつまれながら、日頃の練習の成果を出すため、一生懸命ゴールを目指してすべりました。



日頃の厳しい訓練が評価

平成28年8月の台風第10号でのべ2部隊26人が出動し、堤防からの越水防止対策を行った活動が評価され、音更町消防団が道開発局水防功労表彰で団体表彰を受賞しました。有賀団長は「より一層の水防技術の向上に励みます」と謝辞を述べました。



気を引き締め行進

音更町消防団の出初式が共栄コミセンで行われました。消防団員が、分団ごとの分列行進を行った後、ホールで式典を開催。永年勤続者など35人が表彰され、小野町長からは「全力で地域を守って欲しい」と激励がありました。